

基本理念

わたしたちは地域の中核病院として皆さんの健康を守るために、質の高い医療を提供し共に歩みます。

基本方針

- ・患者さんの人権と権利の尊重
- ・がん医療、救急医療、生活習慣病を中心とした医療の推進
- ・地域の医療機関、保健福祉施設との連携強化
- ・職員の働きやすい職場づくり

南加賀救急医療センターが設立しました

救急外来の場所・名称が変わりました。



11月1日より病院後側に「南加賀救急医療センター」が開設し、重症患者・救急車の対応の救急医療を行っています。

従来あった救急外来は東通用口となりました。やむを得ず**南加賀救急医療センター**を受診される方は病院後側（すこやかセンターやこまつ看護学校があるところ）にまわると**南加賀救急医療センター**の建物がすぐに目に入ります。



救急外来の移行について
平成二十四年一月一日より、救急外来の運用を南加賀救急医療センターに移行します。お知らせします。救急診察を受けられる患者様は、廊下のオレンジ色の線に沿って、南加賀救急医療センターに移動して下さい。総務課



東通用口から歩いて入られた方は廊下のオレンジのテープをたどっていただき、案内板に従って**南加賀救急医療センター**の受付までお越しください。



南加賀救急医療センターの受診には、事前に電話が必要です。受診の内容を看護師が確認させていただきます。内容によって、緊急性がない場合は、診療所・クリニック・南加賀急病センターをご案内させていただくこともあります。**南加賀急病センター**は小松市民病院正面左側にある建物です。いずれの受診に際しても、健康保険証、服用している薬の内容のわかるもの例えばお薬手帳などを持参ください。

南加賀急病センターについて

小松市医師会が運営しています。内科・小児科の医師が診察に当たっています。

南加賀急病センターの診察された医師が、より精査が必要、入院治療が必要と判断された場合は**南加賀救急医療センター**への紹介となることもあります。

南加賀急病センターの診療時間

平日・土曜日	診療時間	19:00~22:30
日曜日・祝日	診療時間	9:00~12:00
(12/31、1/1~1/3を含む)		13:00~22:30
	電話番号	0761-23-0099

南加賀急病センターの診療情報のお持ちの方は翌日必ずかかりつけ医、専門医を受診しましょう。



皆さんにお願いします

●かかりつけ医を持ちましょう

自宅や勤務先から近く、健康に関する相談などを話しやすい診療所やクリニックの医師を選ぶとよいでしょう。「この医師が私のかかりつけ医である」と決めていただければ良いです。特別な手続きは必要ありません。かかりつけ医は健康に関する最初の相談役として活用してください。

受診に際しては病院に比べて待ち時間は短く、じっくり診察してくれます。

普段から病状、病歴、健康状態を把握しているため、緊急の時に適切で素早い対応ができます。などのかかりつけ医を持つメリットがあります。

●休日や夜間の受診は控えましょう

「昼間は仕事をしていたから」「都合悪かったから」「いま仕事が終わって帰り道だから熱っぽいから」という理由で電話なしで真夜中の0時~4時ごろに南加賀救急医療センターを受診される方がいます。時間外受診は医療費が高く設定されています。窓口負担も高額になります。まして保険証を持たないで受診されると自費になります。このような方が増えると本来の緊急性のある重症患者さんの対応が遅れることにもなりかねません。具合が悪ければ、診療時間内に、かかりつけ医(診療所・クリニック)を受診して早めに対処しましょう。

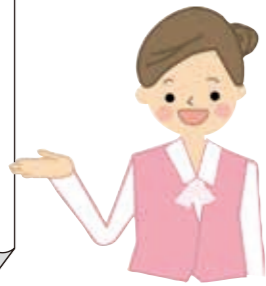


患者様のお呼び出し方法のご案内

当院では、平成24年12月25日より、患者様のお呼び出しを番号表示でご案内いたします。ご不便をおかけする場合がございますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、一部お名前でお呼びすることがございますので、ご了承ください。

診察受付票
平成24年12月25日は、
502番
にてお呼びいたします
氏名：コマト タロウ
診察券 No：01234567
受付時間：8時30分



自動再来受付機または新患受付で受付後「診療受付票」をお受け取りください。
診療受付票の番号が、当日のお呼び出し番号となります。失くさないようにしてください。
なお、この番号は診察する順番ではありませんので、ご承知おさください。

★受付されました各診療科へどうぞ

内科	1診	内科	2診
担当医	亀田	担当医	上田
予約時間	10:00	予約時間	10:00
診察番号	24	診察番号	28
88	91	101	89
			102
			103

順番が近づきますと、「次の方は診療室前でお待ちください」または「まもなくおよびます」の欄に、番号が表示されます。

外科 1診
川浦
受付番号 **34** 番の方
診察室へお入りください

呼び出し音が鳴り、お呼び出し番号が表示されましたら、診察室にお入りください。

★本日受付された全ての診察が終了されましたら、正面へお戻りください

以下の番号の方は、お会計ができます

1	2	4	5	7
8	10	11	13	15
17	19	21	23	25
28	100	101	999	1000

黄色枠の方は、④料金計算窓口へお越しください

④番 料金計算窓口へファイルをお出しください。
お会計ができましたら、「診療受付票」の番号が会計番号表示板へ表示されますので、⑤番 支払窓口でのお支払いをお願いいたします。

topics トピックス

第4回 医科歯科合同講演会が開催されました



当院では地域支援連携の一環として講演会を行っています。このたび11月28日(水)午後7時からサンルート小松にて東京医科歯科大学大学院教授(顎口腔外科分野)小村 健先生をお迎えして南加賀(能美、加賀、小松)の先生方を対象に「口腔粘膜疾患」についての講演を行って頂きました。

冬模様の合間の天気にも恵まれたことにも幸いして 医師15名(耳鼻咽喉科、内科、産婦人科等)歯科医師24名(歯科、歯科口腔外科等)近隣の病院や診療所など口腔領域に隣接する科から全身疾患の口腔症状を診られる先生方にお集まり頂きました。超高齢者の口腔内にはがん病変やカンジダ症病変など鑑別診断を必要とする疾患が多く診られます。また嚥下障害、周術期や緩和ケアでの口腔内管理など、臨床の場で口腔内が注目されています。

当日は活発な議論があり、医科歯科合同の接点が臨床医学で必要とされている事を痛感する1日となりました。

topics トピックス

緩和ケア病棟がオレンジバルーンプロジェクトに参加しました

10月1日から10月31日まで緩和ケア病棟主催で「緩和ケア」についての啓発活動オレンジバルーンプロジェクトに参加し、院内で緩和ケア病棟の見学、がんに関する相談、マッサージ体験ができるコーナーを設けてマッサージを行いました。緩和ケア病棟の見学では訪問看護ステーション・施設職員の方々の多くの参加があり、緩和ケア病棟について理解していただけたと思います。訪問看護ステーション・施設を利用されている方に役立てていただければと思います。



Orange Balloon project (オレンジバルーンプロジェクト)について

厚生労働省委託事業緩和ケア普及啓発事業団が緩和ケアを皆さんに広く正しく知っていただくために、オレンジバルーンプロジェクトが企画されました。このプロジェクトには、緩和ケアを広く正しく理解していただくために緩和ケアの肯定的イメージを広めていくこと、人々が痛みを我慢せず緩和ケアをやってみようという気持ちになってもらうこと、緩和ケアががんの治療を支える「もう一つの大切な医療」であることを正しく理解してもらうことといった思いが込められています。

topics トピックス

緩和ケア病棟では第2回遺族会を10月31日開催しました

介護を終えたご家族が故人のおられない生活に適應し、ご自分の人生を前向きに歩んでいただくために少しでも力になればとの思いで、昨年度から年1回開催しています。参加されたご家族23組29名の方が白石さんのサウルハーブの演奏会の後、故人をしのんで主治医、看護師との語らいをされました。「このような音楽が聞けてとてもよかった。」「また参加させてください。」「クリスマスも参加させてください。」「またいろいろな集いがありましたら誘ってください。」などのご意見をいただきました。



南加賀地区にがん相談支援センターが2か所あります

今まで小松市民病院の1か所でしたが、能美市辰口町にある医療法人社団和楽仁芳珠記念病院が平成23年4月に石川県地域がん診療連携推進病院の指定を受けられ2か所になりました。相談窓口を設立され、がんに関しての相談を受けて、支援を提供されています。今回、第6回市民公開講座「明日を生きるがん治療」に共催していただきました。その中で「患者・家族を支える」のテーマで、がん患者さんの在宅療養への取り組みについて事例を交えての講演がありました。

がん相談窓口の紹介 (H23年4月新設)



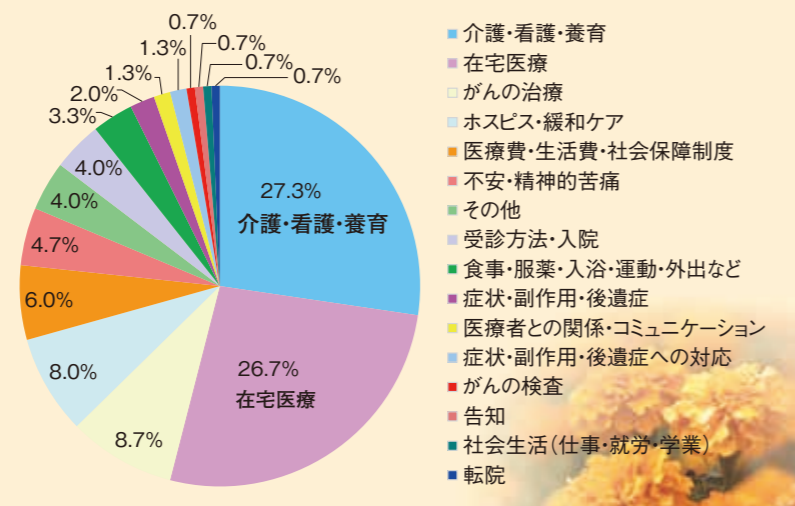
場 所: 1階安心窓口センター内
受付時間: 9:00~16:30(月・火・木・金)
9:00~11:30(水・土)
担 当 者: 看護師1名
医療ソーシャルワーカー 2名



主な相談内容
* 病気に対する不安について
* 治療について
* 医療費について
* 日常生活について



相談内容の割合



芳珠記念病院のがん相談窓口にはソーシャルワーカー2名、看護師1名のスタッフが相談にあたられ、相談内容によっては、各専門分野に繋いで、相談された方に安心して帰っていただけるように努められています。相談内容は介護・看護に関するものが27.3%、在宅医療に関する相談が26.7%と在宅生活に関するものが多くとこのことです。患者さんが窓口へ直接来られての相談はまだ少なく、院内スタッフから患者さんに関する相談が多くあります。患者さんの思いを中心に家族や院内スタッフだけでなく地域の関係機関と連携しながら患者さんが望む在宅医療の支援を行なわれています。

がん在宅療養へのとりくみ

患者: 74歳女性Aさん
病歴: H23胆嚢癌手術
H24再発、栄養失調
家族構成: 長女、孫3人(小学生)
移動: 立って歩けず、家の中は這って移動
トイレ: 自立
食事: 自立
認知面: 問題なし



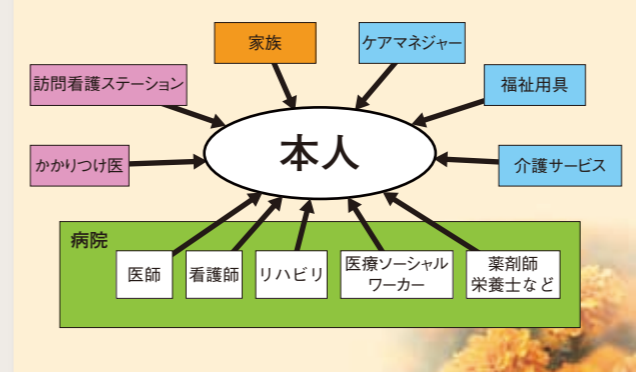
《経過①》

- 6/8 食欲不振にて入院
- 6/21 長女より退院後の生活について相談あり
* 受診に付き添うことが難しい
* 日中仕事があり、一緒にいることができない
→ 往診医、介護サービスの利用について紹介
- 6/27 本人より1日でも早く退院したいと相談あり
* 娘にお金のことで迷惑かけたくない
→ 退院に向けてみんなで準備していることを伝える
- 6/28 院内多職種カンファレンス
* 長女の不安な思いや本人の退院への思いを共有
→ 自宅退院に向けて準備を進める

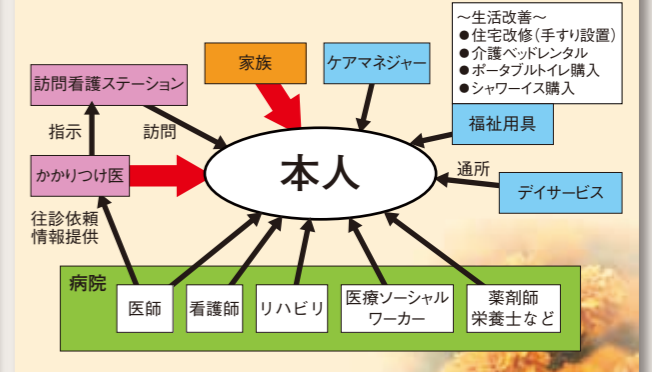
《経過②》

- 7/5 一時外出に同行
→ 安心して過ごせる環境か検討
→ 手すりやベッドなどが必要か相談
- 7/6 長女より退院後の受診について相談あり
* 往診の先生に来てもらいたい
→ 主治医よりかかりつけ医に情報提供
- 7/10 退院前カンファレンス
(本人・家族・院内スタッフ・関係機関)
→ 退院後の生活について最終確認を行う
- 7/11 ⇒ 自宅へ退院

在宅療養への関わり



《Aさんへの支援》





小児科Q&A、ときどきA&Q

(発疹編 その2)

小児科部長
上野 良樹

Q かわいい翔ちゃんが溶連菌感染だと思うんですけど、調べてもらえますかね。

A 『はい、もちろん』

私も、若い頃は『それは医者が決めることです。診察して必要なら調べます』と眉間にしわのひとつも寄せながら答えていましたが、今はムダな抵抗はしません。

溶連菌というのは正式にはA群β溶血性レンサ球菌をさし、小児の扁桃炎の代表的な菌です。基本は扁桃炎なので発熱、咽頭痛がメインであり咳や鼻水はほとんどありません。でも頭痛や、発疹、倦怠感だけの時もありなかなか厄介です。

中でも発疹が特徴があり、頬部、前胸部、下腹部、手足に分布し痒いことが多いのでそれだけでほぼ診断がつきます。診断がつけば、抗菌剤をしっかり最後まで飲むことが大切です。除菌が不十分だと腎炎など色んな合併症を引き起こす原因になります。家族内感染もありますので溶連菌感染を繰り返す時は先生に相談してください。

ちなみに、翔ちゃんは微熱でしたがお腹に発疹が出ており、迅速検査陽性でした。はじめに余分なことは言わぬが花です。

Q 翔ちゃんのかわいいおしりが真っ赤で、うんちの度に泣き叫んで…。もう1週間以上軟膏を塗っているんですけど。

A 翔ちゃんのかわいいおしりを診てみると確かに、おしりの所からオチンチンのまわりまで真っ赤でただれています。軟膏はおむつかぶれ用の亜鉛華単軟膏です。

おむつかぶれは、うんちによる接触性皮膚炎ですから軟膏でしっかりカバーしてやればほとんど治ります。でも、下痢が治ってもひどくなる場合があります。

1週間以上つづく時はカビの一種であるカンジタが感染し乳児寄生菌紅斑という状態になっているかもしれません。ステロイドが入った市販の軟膏はさらに悪化させます。おむつかぶれと違い、うんちが接触しにくいシワの中まで赤くなっているのが特徴です。『うーん、カンジタみたい感じだ』と先生が言ったら、とりあえず突っ下さい。

(小児科Q&A、ときどきA&Qは、今回で一旦終了させていただきます。子供たちをとりまく環境は大きく変化しつづけています。その変化の速さと子供たちに必要な時間の流れがどんどん開いていっている気がします。また別な形で子供たちのことについてお話できればと思っています。)

編・集・後・記

11月に入り、北陸独特の天候の灰色の空と雷が毎日続いて、気が滅入りかけているところに、夜勤勤務で早朝の病棟巡視の時、東の方から大きな太陽が上ってきて、輝いて、まぶしく、神々しく、白山に上らなくてもこんな素晴らしいご来光がみられて、得をしたような嬉しい気分になりました。これからの冬の晴れ間に見る白山はとてもきれいです。どこから見るのが一番いいでしょうか。



国民健康保険 小松市民病院

〒923-8560 石川県小松市向本折町ホ60
TEL(0761)22-7111(代) FAX(0761)21-7155
URL <http://www.hosp.komatsu.ishikawa.jp/>
E-mail cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp